

保護者のための「子どもの悲嘆のケア基礎講座」 ～ 保護者が自分のためにも知っておかれた方がよいこと ～

親や兄弟など家族が亡くなったとき、大人も様々な気持ち（悲嘆）を味わいますが、子どもも、様々な気持ち（悲嘆）を味わいます。

ただ、子どもは、「言葉で気持ちを表す力が弱く」、「気持ちを表して良いのかどうか分からない」、「その方法もわからない」

様々な「弱さ」や「わからない」が重なって、子どもの悲嘆は大人の目には見えにくく、大人よりも悲嘆が長く続くことも少なくありません。

本講座では、誰か家族を亡くした時、保護者が「自分自身の悲嘆のケア」を行いつつ、子どものケアにあたるため、知っておかれた方がよいことをお伝えしたいと思います。

【日 時】令和6年9月1日（日）13：30～15：30

【会 場】新潟市総合福祉会館 407 講座室
新潟市中央区八千代 1-3-1 電話：025-248-7161（代表）

【対 象】家族を亡くした未成年の子どもの保護者

【定 員】12名

【参加費】1,200円（資料代、お菓子付き）

【内容】

1. 一般的な知識として
～グリーフのこと、家族のなかで起きること～
2. 愛する大人による「子どもの悲嘆ケア」の重要性
3. 子どもに最初にしてあげなくてはならないこと
～子どもが死を理解できるように助けてあげる～
4. 急性期の反応と、それに対する接し方
5. その他の「子どもの悲嘆への接し方」
6. 家族を支援するために周囲の人ができること

*引き続き、感染症対策を講じて実施します。

ご参加の皆様には、体調管理や手指消毒、マスクの着用など、ご協力をお願いいたします。

【申込方法】お電話にてお申込みください。

TEL：025-233-5983

*番号非通知はかかりませんので、ご注意ください。

*本講座は「にいがた子どもグリーフサポートチームマーガレット」との共催です。

主催：グリーフケアこもれびのなか 代表 西條和佳子

（社）日本グリーフケア協会認定 特級アドバイザー

あしなが育英会「子どものグリーフサポートワンディプログラム」ファシリテーター

〒950-2004 新潟市西区平島 1-16-5 TEL：025-233-5983

（番号非通知不可）